

社 報



コダック社倒産

特許取得！

朗報です。

かねてから申請しておりました、サポート設置金物に特許が承認されました。

商品化にはまだ至っていませんが、なんとか工夫して商品として成功させたいものです。この金物で、サポートの滑動防止が不要になるのが狙いです。

さらなるアイデアで、会社の未来を支えていきましょう。



今でこそ写真と言えば、デジタルカメラですが、少し前までは、写真はフィルムで撮影するものでした。

ずいぶん古い時代には、写真を撮影するには、ガラスに感光剤を塗布し、それをカメラにセットして撮影するという大掛かりなものでした。写真機も三脚に据えなければ、手持つことのできない大きさであり、重量も重いものであったようです。

コダック社は、感光剤をフィルムに塗布し、これを巻くことで、ケース内に納めて感光を防ぎ、必要に応じてフィルムをケースから引き出して使うという活気的な開発をしたのです。

後には、カラーフィルムをも開発し、まさに映像では世界に冠たるコダックでありました。

本年1月19日、コダック社は破産を申請して倒産しました。

映像関係では世界No.1であった、コダック社の倒産は驚きでありましたが、世がデジカメ時代でフィルムを使用せずに高画質の画像が手に入る状況では、さすがのコダック社も業績を傾けるしかなかったのかと思っ

ていました。

しかし、コダック社倒産の記事を読むと、デジカメ技術もコダック社の開発によると知り、二重の驚きです。コダック社、技術革新に挑戦し、成功したにも関わらず、過去の成功体験から抜け切れず、デジカメ技術の開発に成功しながら、開発を中断してしまったのです。

そして結果は倒産。

これは誰にも起こり得る、誰しもが同じ選択をする、可能性があるとします。人間は過去の成功体験、一度味わった繁栄・名誉が忘れられないのです。それが結果的に、間違った判断を導くのです。

自分で自分を否定することが、それほどに難しいかをコダック社は教えてくれます。

文明が進み、時代は早い速度で変化していきます。自分で自分を否定して、新しい自分と作ること。これが時代の変化に適合することです。過去の栄華では、未来は食べていけないのです。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

今年こそ休業無災害を達成しよう

人間は必ずミスをする。
建設現場で働く人々だけにミスをするなどと言っても、それは無理でしょう。
事務を職業としても、消しゴム・修正液がありますし、キーボードには、デリートキーも、バックスペースキーもあります。人はミスをする前提です。
建設現場でもミスはつきものと考え、

もしミスをした、致命的な怪我にはならない、大きな怪我にはならないように、していかなければなりません。
その為には、作業の前に自分の身をどう守るかを考えることです。
もしも、の時にどうするかを決めておくことが大切です。
休業災害だけは無くしたいものです。

2012年 安全成績

■現場災害 H24.1.1-H24.2.2

休業災害 ----- 0
不休災害 ----- 0
物損災害 ----- 0
その他 ----- 0
合 計 ----- 0

■交通災害 H24.1.1-H24.2.2

人身災害 ----- 0
物損災害 ----- 0
合 計 ----- 0